

# 平成 18 年度ホタテガイ採苗情報（第 5 報）

平成 18 年 5 月 25 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が更に増加しています。」

## 1 ラーバの出現状況

5月24日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 $\mu$ m未満が14個/トン、200 $\mu$ m以上が78個/トンと前回調査時(合計124個/トン)同様、大型個体を主体にラーバは多数出現しています。

調査時の水深10m層の水温は8.4 $^{\circ}$ Cと、前回調査時より0.7 $^{\circ}$ C上昇し、平成9~17年の平均値(10.1 $^{\circ}$ C)より1.7 $^{\circ}$ C低い値になっています。

## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月18日以降の調査において、宮古と釜石地区で付着稚貝が確認されました。各調査点の付着数は104~2,387個/袋でした。

釜石地区の唐丹湾をはじめ、各地区で付着数が増加しています。

なお、唐丹湾では、付着稚貝の5割が付着直後の個体でした。

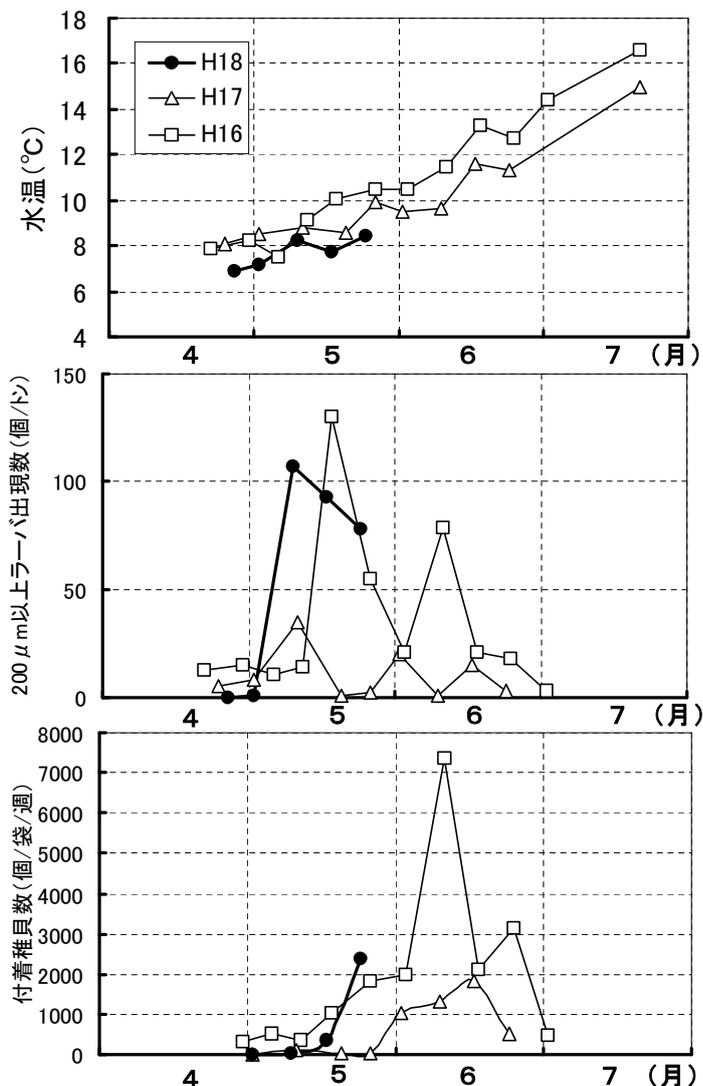


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中部以南では、大型のラーバと付着稚貝が確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

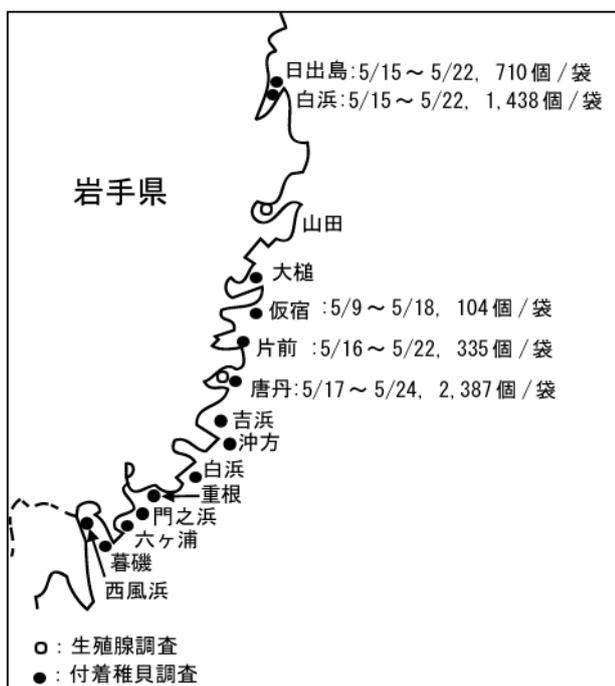


図 調査点と付着稚貝調査結果

次報は、6月1日に発行する予定です。